



# 松阪市高齢者保健福祉計画等策定委員会

超高齢社会の現代において、介護保険制度や高齢者福祉のあり方は地域住民の生活にとっても重要です。そこで、時代や社会の変化に伴った制度となるように、3年に一度、国や各市町で計画の見直しをしています。この計画を令和6年度に改訂するため、松阪市でも地域住民や医療機関など関係職種と策定委員会を開催し、検討が進められています。



松阪市高齢者保健福祉計画等策定委員会  
 (左) 副会長 中村文彦さん(一般社団法人 松阪地区薬剤師会)  
 (中央) 会長 志田幸雄さん(公益社団法人 松阪地区医師会)  
 (右) 副会長 奥田隆利さん(松阪市介護サービス事業者等連絡協議会)

## 松阪市高齢者保健福祉計画等策定委員会とは

地域の医療・介護サービスに関する多職種の方々や地域住民が参加し、介護保険や高齢者に対する施策についての意見を交わし事業計画へと反映する委員会です。

## 今後の介護保険のあり方

### ● 志田会長

改訂によって変更する部分はありませんが、「高齢者がいつまでも安心して地域で暮らし続けることができるまちづくり」という基本理念は変え

ずに計画を立てています。孤立や分断などを生んだ数年間のコロナ禍が過ぎ、今後はさらに共生社会を創る必要性があると感じています。格差や社会的孤立などが問題になり、地域には様々な状況にある方がいます。しかし、誰もが社会に参加し、安心して暮らし続けられるような地域を実現するために、住民の方や多職種の方の様々な意見を聞き、一歩進んだ計画が立てられるように努めたいと思います。

### ● 奥田副会長

そもそも介護保険制度とは、地域住民がお互いに助け合うという考え方を元に実施されています。介護保険料もその一つです。そのため、介護保

険サービスをただ受けるだけではなく、誰もがサービスを提供する側になつていただきたいと思っています。そして介護保険制度は高齢者だけが関わるものではありません。老若男女関係なく、全世代型の福祉を考えるものです。どの世代の方も安心して暮らせるために、幅広い意見を吸い上げて慎重に計画を議論していきたいです。

### ● 中村副会長

社会保障や福祉制度などを効果的に利用するためには、地域の方による見守りや生活支援がとても重要です。松阪市の全ての方にとって暮らしやすいまちにするために、高齢者や関係職種に限らず、地域住民一人ひとりが松阪市の未来について関心を持ち、向き合って考えていくことが必要不可欠です。若い世代の方も、時間の流れとともに歳を重ねます。自分の将来のことだととらえて、一緒に考えてみてほしいです。